

No.
106



独立行政法人国立病院機構

静岡医療センター

NEWS
ニュース

私たちは生命を大切にし
社会から信頼される
高度で適切な医療を提供します



巻頭言 社会システムにおける医療の立ち位置 院長 岡崎 貴裕	2
診療科の紹介 循環器内科	3
トピックス 心不全看護外来のご紹介	4
病棟紹介 5西病棟の紹介	5
トピックス 「しづいフェスタ 2025」を終えて	6
地域医療連携室	7
外来担当医表	8



◀静岡医療センター
ホームページ

発行:静岡医療センター／発行責任者:岡崎 貴裕／発行日:令和8年1月9日

巻頭言



社会システムにおける医療の立ち位置

院長 岡崎 貴裕

2026年（令和8年）、皆様には、さわやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、昨年中、当院に賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

2020年初頭に起こったCOVID-19のパンデミックは経済活動の大きな萎縮をもたらし、日本を除く西欧の先進各国は、世界経済を支えるべく、日本に並ぶような低金利政策をとりました。しかしながら、2021年には早々にパンデミックに見切りをつけ、経済活動を正常化させる方向に舵を切り、その過程での経済のリバウンド的拡大を抑える為に、金利を上昇させました。デフレからなかなか脱却できずに金利ゼロ政策を継続していた日本の円の価値はこれとともに急速に低下し、今や1ドル150円台です。この円安は、2022年前半のウクライナ戦争の勃発も相まって、急速に原材料および輸入物価を押し上げ、多くの企業は利益を確保するため、結果的に材料価格や食料品価格への転嫁が起り、値上げラッシュが始まりました。これに加えて、失われた30年を取り戻すべく、日本銀行がプライムレートの上昇に舵を切ったのが2024年3月。先月(2025年12月)には0.75%まで着実に上昇させています。これに応じるように、企業は更なる人件費と材料物価の上昇から自社の利益を衛るために、さらなる価格転嫁を行い、現在の物価上昇のトレンドを形成しています。

医療の世界も例に漏れず、資材および材料価格の上昇、人件費の上昇の波に飲み込まれました。

しかし、医療収益の多くが「公定価格」に縛られ

ている我々は、COVID-19パンデミックに隠れるなかで進行していた人口減少および受療率の減少も相まって、材料費や人件費の上昇分を価格転嫁による収益増大でこなすことが全く出来ず、多くの病院、診療所が赤字運営に苛まれる状況となってしまいました。

とある経済学者が提唱した概念である社会的共通資本（すべての人々が豊かで人間らしい生活を送り、優れた文化を発展させ、魅力ある社会を持続的かつ安定的に維持する為に不可欠な自然環境と社会的装置全般のこと。①自然資本、②社会インフラ、③制度資本の3つに分かれる。）において、医療は、教育や司法などと同じく制度資本の一つとしてみなされます。文化的社会に生きる全ての人々を支える役割を与えられている医療産業においても、金利のある社会の中で経営を維持する為には、医療収益の土台となる診療報酬（公定価格）をあげる以外は無く、これは行政に委ねられた仕事となります。

私たち医療人にできることは、「意見を言うこと。」そして「地域の中で信頼を勝ち取るための医療技術や病院システムの変革を絶え間なく行っていくこと。」しかありません。特に後者を忘れてはならず、地域の中核病院の一つとして、医師、看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士、福祉職、事務職など当病院全ての職員と協力しながら、信頼できる「地域を支え続けられる病院」を作るべく試行錯誤を続けてまいりたいと考えています。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

診療科の紹介

循環器内科

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひいたします。

今回は心房細動の患者さんの脳梗塞リスクを減らす治療の一つである「左心耳（さしんじ）閉鎖術」についてご紹介いたします。

■ 心房細動と脳梗塞

心房細動という病名を耳にされたことがある方も多いと思いますが、これは心房と呼ばれる心臓の部屋が不規則かつ小刻みに拍動することで生じる不整脈のひとつです。心房細動が起こると動悸や胸の不快感を感じるとともに、心房の中で血液の流れが淀み、血栓（血のかたまり）ができやすくなります。特に左心耳（さしんじ）と呼ばれる心房の部分に血栓ができやすく、90%以上の血栓がこの左心耳に発生すると言われています。

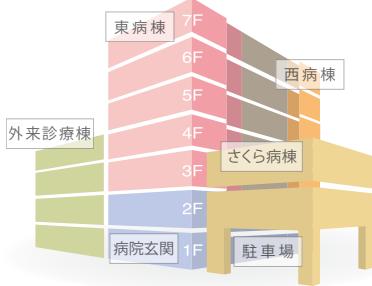
もし血栓が剥がれて飛んでしまい、脳の血管など他の臓器の血管を詰まらせてしまうと脳梗塞などの重篤な病気（血栓塞栓症）を引き起こしてしまいます。

そのため、心房細動による脳梗塞を予防するには抗凝固薬（血液を固まりにくくする薬）の内服が必要となります。

しかしながら抗凝固薬を内服すると消化管出血や脳出血などの出血リスクが高まってしまい、一部の患者さんでは抗凝固薬の長期の内服が難しい場合があります。



循環器内科医長
田尻 正治



■ 左心耳閉鎖術とは

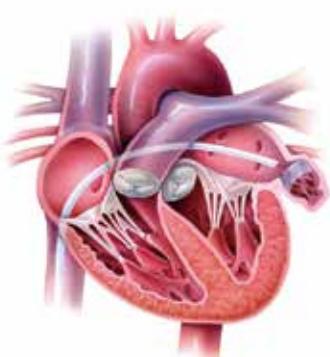
左心耳閉鎖術は、この血栓ができるやすい場所である左心耳を直接塞ぐことで脳梗塞などの塞栓リスクを減らす治療法です。特にカテーテルを用いた方法は体への負担も少なく、ご高齢の方でも比較的安全に行える治療法です。

具体的には足の付け根から細い管（カテーテル）を左心耳まで進め、閉鎖デバイスという器具を左心耳の入り口に留置します。全身麻酔のもとで行うため治療中に痛みを感じることはなく、多くの場合治療翌日には歩行も可能となります。

この治療はすべての患者さんに適応のある治療法ではありませんが、高齢で出血リスクが高い方や、抗凝固薬の長期内服が困難な方に有効な選択肢のひとつです。

当院でもこの治療を提供できるように体制作りを進めており、準備が整い次第改めてお知らせいたします。

この治療についてご不明な点がありましたら、お気軽に循環器内科医師にご相談ください。



トピックス

心不全看護外来のご紹介

心不全診療ガイドライン2025では、心不全で入院した患者さんが退院後に心不全悪化で再入院する確率が25～30%であること、再入院は退院後3～6ヶ月以内、特に退院後早期（90日以内）に多いことが報告されています。この不安定な時期を脆弱期と呼び、安定するまでの移行期間は患者さん本人だけでなくご家族・病院・地域ぐるみで支えていくことが重要とされています。

こういった背景を受けて当院の循環器外来では2022年10月より看護外来を開設しています。主に心不全で入院となり退院された方を対象としていますが、すべての患者さんにお声がけできていないのが現状ではあります。患者さんは脆弱期を乗り越えた後も心不全の発症や悪化および進展を予防するための長期にわたる疾患管理が求められるため、看護外来ではご自身の心臓の機能と生活のバランスをうまく図りながら暮らしの継続性を応援させていただいています。また病院でできることには限りがあります。その中で支援の密度と確実性を高めるために、地域で活躍する看護師、介護職者、介護支援専門員、他施設の方のお力も借りながら支援体制を強めています。

■心不全看護外来での支援内容■

相談：心不全について知りたい！／心不全手帳って何？／薬や食事、体調で気になることがある／介護申請について聞いてみたいなどなど

訪問：退院直後の脆弱期だけでなく、外来通院中の患者さんで心不全が不安定な方、担当の先生から提案があった方など、ご本人ご家族の希望を伺いながら自宅訪問いたします。（心不全管理や療養環境のアドバイス、介護サービスとの連携などが目的）

■心不全看護外来の運営■

申込：担当医師もしくは循環器外来（Hブロック）受付にて看護師にお声がけください

時間：月～金 午前中の外来診察時間（担当者の都合によりお休みすることあり）

料金：再入院された患者さんの退院後初回外来のみ診療報酬170点いただきます

その他の方は現段階では無料です



10月に米子で開催された日本心不全学会学術集会で活動の報告を発表し、最優秀演題賞をいただきました！



病棟紹介

5西病棟の紹介

5西病棟副看護師長 石井 麻琴

5西病棟はALS(筋萎縮性側索硬化症)、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、パーキンソン病やてんかん、髄膜脳炎などの脳神経内科の患者様を中心とした42床の病棟で、主に検査、薬剤調整、胃ろう導入、人工呼吸器の導入・管理・指導、リハビリテーションなどを目的に入院をされています。病棟では医師2名、看護師35名、看護助手2名が患者様に治療・看護・日常生活援助を提供しています。神経難病の患者様は、食事、排泄、清潔、移動、肺炎予防など生活全般に介助が必要な方がいます。また、人工呼吸器を装着し、コミュニケーションが困難な患者様に対してはリハビリテーションスタッフと協働し残存機能を生かしたコミュニケーションの方法を模索しながら患者様の思いに寄り添った看護ができるよう日々努力をしています。

神経難病は長期の療養が必要となる方が多く、患者様や御家族が希望する療養場所で過ごせるように、ソーシャルワーカーや地域連携室スタッフと連携して退院調整カンファレンスを毎週開催し、退院に向けて必要なサービスの検討を行っています。また、多職種が同じ目標に向かって患者様の支援ができるように、リハビリスタッフ(PT、OT、ST)や薬剤師、医師、看護師などが参加したリハビリカンファレンスも毎週開催しています。さらに臨床心理士も患者様の心理面でのサポートを行っています。このように多職種で連携しながら、患者様や御家族が安心して療養生活が送れることを目標に日々の援助に取り組んでいます。

昨今の高齢化社会に伴い、当病棟の入院患者様の平均年齢も70歳を超えており認知症のある入院患者様が増加傾向にあります。当病棟では週に2回、認知症認定看護師と臨床心理士がみかんカフェ(認知症カフェ)を開催しています。歌を歌ったり、指先を使った工作で作業療法をしたり、車いすに乗ったままでできる風船バレーをしたりとリハビリテーションを兼ねたレクリエーションを行っており、普段とは違う楽しそうな表情を見ることができます。

5西病棟では患者様が今後の人生を考えるためのサポートができるように多職種と連携し、患者様や御家族に寄り添いその人らしさを大切にした看護を目指し、安全に安心して過ごせるようスタッフ一同で取り組んでいます。



トピックス

「しづいフェスタ2025」を終えて

2025年10月25日(土)に「しづいフェスタ2025」を開催しました。静岡医療センターが主催する大きなイベントとしては、コロナ禍を経ておよそ10年ぶりのことです。当センターが地域に根差した病院として、地域の皆さまとの交流はもちろん、多くの方々に当センターのことをより身近に感じていただくとともに、医療や健康などについて少しでも関心を持っていただけた機会になることを目的にこの度のイベント企画・準備を進めてきました。

当日は朝から小雨が降り、日中の天気も心配していましたが、イベントが始まる少し前に雨も止み、結果的には300人を超える多くの皆さまにご来場いただきまして、無事に終了できましたこと感謝申し上げます。

イベント内容としては、子供を対象とした模擬調剤や白衣を着用するなりきり体験などを始め、健康チェックや血液脈波検査、手指トレーニング、人生会議など、子供から大人まで楽しめる体験型企画を実施し、特に健康チェックのブースは大変な盛況ぶりでした。また、お薬や栄養の相談、薬剤部や放射線機器の見学ツアー、午前と午後に分けての公開講座などを実施し、多くの皆さまにご参加いただきました。附属看護学校でも学生によるアロマハンドマッサージのほか、オープンキャンパスも実施しました。

また今回、さくら病棟の1階駐車場では、消防や役場の方々のご協力のもと、119番通報体験+ミニ消防車の乗車体験や起震車による地震体験ができるブースを設けました。119番通報体験では実際に消防へ通報し、病態に応じた対処について学んだり、救急隊による現場デモンストレーションを実施するなど、ご参加いただいた方にも学びの多いものとなつたと感じております。起震車体験では、実際に過去に起きた大地震の揺れを体験でき、その揺れの激しさから改めて日頃の備えの大切さや地震の恐ろしさを皆さん実感されているようでした。

このイベントには、清水町イメージキャラクターのゆうすいくんも駆けつけてくれました。子供たちと触れ合ったり、一緒に写真を撮ったりと楽しんでくれたようで、会場の人気者になっていました。ゆうすいくんもご参加ありがとうございました！

今回、キッチンカーにも来てもらい、職員も楽しみにしていましたが、ご飯ものが完売するなど、こちらも多くの人で賑わっていました。

限られた時間ではありましたが、改めて「しづいフェスタ2025」にご参加いただきました皆さま、誠にありがとうございました。今回のイベントを通じて、地域の皆さまの笑顔に触れ合えたことは当センターとしても大変嬉しい限りです。これからも地域の医療機関として、静岡医療センターをよろしくお願いいたします。



管理課長
早川 昌孝



地域医療連携室

連携医療機関紹介 沼津中央病院

沼津中央病院は、医療センターの西側、香貫大橋の沼津市側、狩野川と黄瀬川の合流点近くに立地する精神科を専門とする単科の病院で総レンガ張りの建物です。

大正15年に開設され、戦火焼失後に再建されています。法人の理念「愛・信頼・貢献」は、地域と病院が相互に発展することを願い制定されました。

利用者が地域で暮らしながらサービスを受けることを基本とし、地域包括ケアや地域共生社会の理念に通じる活動に時代に先駆けて取り組んできました。急性期からリハビリテーション、就労やリカバリーに至るまで切れ目のない包括的なケアを提供する体制を復康会全体として構築していく中で、沼津中央病院は精神医療的ケアの中核の部分を担っています。精神科救急・急性期入院料病棟を届出し、県の精神科救急事業における常時対応型施設、医療相談窓口、精神科災害拠点病院の指定を受けています。

スタッフは、高い専門スキルを磨くと同時に、心を病む人々の痛みを理解し、優しく親切で温かい人間性を備え、気配りのあるケアを目指しています。日本医療機能評価機構の認定、精神科専門医研修プログラムの基幹施設、多数の看護・コメディカルの実習受託等を通じ、地域の専門職人材の育成にも努めています。



診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	△
午後 13:00~17:00		○	○		○	△

休 診 日：日曜日・祝祭日

※土曜日（△）は児童外来のみとなります。

※当院は予約制です。初めて来院される場合でも、お電話にて予約をお願いいたします。

診 療 科 目：精神科・心療内科

住 所：沼津市中瀬町 24-1

電 話 番 号：055-931-4100

ホーメページ：<https://www.numazuchuo.jp/index.html>



	呼吸器内科	糖尿病内科	内科		腎臓内科	消化器内科		脳神経内科		リウマチ・膠原病内科	眼科		心臓血管外科		外科				呼吸器外科	小児科			産婦人科	脳神経外科	
	A-2	A-4	B-2	B-3	A-3	B-4	B-5	A-1 (再診)	A-1 (初診)	B-1	A-6	A-5	B-2	B-3	C-2	C-3	C-4	C-5	C-3	C-6	C-8	C-7	D-1	D-2	
外来担当			仲田 予約のみ	北野 第1・3・5週 内科担当医 第2・4・週 予約のみ			坂木 予約のみ		田中 予約のみ		片山	曾根			相馬	鈴木(達)	福島 乳がん 専門外来					芳本 予約のみ 第4週		高橋	黒田
	火	呼吸器内科 担当医 予約のみ			有安 予約・紹介状 のみ		大西 予約のみ	消化器内科 担当医 予約のみ	日向 予約のみ	日向 予約のみ	岡崎(院長) 予約のみ			波里	高木	腫瘍内科 担当医 伊澤	松下	高城	中野(良)		渡邊 予約のみ 第2・4・5週	守田 フォロー外来 第1・3週		新榎	黒田
	水	糖尿病担当医 予約のみ		辻林 予約のみ			松田 予約のみ	本間 予約のみ	田中 予約のみ	飯田 予約のみ	片山	曾根			斎藤		田中(雄)		植松			佐野 予約のみ 第4週	山澤		
	木	古屋 予約のみ	小林(秀) 予約のみ		若林 再診 予約のみ	大西 予約のみ		田中 予約のみ			片山	曾根	相磯	後藤	酒井	角	未永			田中 予約のみ 第4週	北山 第1週 日黒 第4週 予約のみ	山澤	高橋	黒田	
	金	本橋(典) 第1・2・3・5週 董下 第4週 予約のみ	糖尿病担当医 予約のみ	内科担当医 予約のみ	堀川 第3金曜日 予約のみ		松田 予約のみ	鈴木(重) 予約のみ	鈴木(重) 予約のみ		片山	青木			石上	外科 担当医	尾崎					産婦人科 担当医	黒田	高橋	

	整形外科		耳鼻咽喉科		泌尿器科		形成外科	放射線科		皮膚科		歯科口腔外科				循環器内科				ペインクリニック	
	D-3 (整形)	D-4 (整形)	D-5 (整形)	E-1	E-2	E-5	E-6	F-1	F-2	F-3	F-4	G-1	G-2	G-3	G-4	H-1	H-2	H-3	H-4		
月	小林(哲) 予約・紹介状 のみ	村山 予約・紹介状 のみ	荒井	小森	鈴木(祥) 予約のみ 診察9:00 ~10:30	間庭 予約のみ 診察9:00 ~10:30	大森 ※第3週は 予約のみ	杉山(彰)	斎藤(寛)	杉山(由)	輪番制 予約のみ 特診日(第1週)					田邊	松田(龍)	中島			
火		渡邊(健) 予約のみ		荒井	池田 診察 9:30 ~11:30	鈴木(祥) 予約のみ	間庭 予約のみ	吉原		小久保	斎藤(寛)	杉山(由)	新井 予約のみ	山崎 予約のみ	千葉 予約のみ		田尻	川中	木村(慶)	國分	
水	大沢 予約のみ	入江 予約・紹介状 のみ	整形担当医 予約・紹介状 のみ	荒井	横山	鈴木(祥) 予約のみ	間庭 予約のみ			小久保	斎藤(寛)	杉山(由)	新井	山崎	千葉		田邊	小鹿野	國分	伊佐治	中央処置室 井出 (午前) 予約のみ
木		入江 予約・紹介状 のみ	渡邊(健) 予約・紹介状 のみ		荒井			田村		杉山(彰)	斎藤(寛)	杉山(由)	新井 (午後) インプラント 外来 予約のみ	山崎	千葉	小杉 第1・3・5週	松田(龍)	田尻	田邊	小山内	
金	小林(哲) 予約・紹介状 のみ	村山 予約・紹介状 のみ			荒井 診察14:00 ~16:00 受付13:30 ~15:30	鈴木(祥) 予約のみ	間庭 予約のみ	奥原 第2・4 金曜日のみ 予約のみ	小久保	斎藤(寛)	杉山(由)	新井 予約のみ	山崎	千葉	佐々木(剛)	中島	川中	小鹿野			

◎上記の診療日は、休暇や学会出席等で変更することがありますので、詳しくは各科外来の掲示で確認して下さい。

* 脳ドック……………毎週（月）（金）

* 皮膚科（本田医師）……………本田医師に受診中の患者様のみ予約できます。

* ペインクリニック（井出医師）…井出医師に受診中の患者様のみ予約できます。

令和8年1月5日現在

がん相談支援センターのご案内

相談日時：月～金曜日(要予約)(祝日・年末年始除く) 午前9時～午後4時

担当 当：静岡医療センター地域連携室 医療ソーシャルワーカー

一般内科の診療形態の変更について

内科医師の退職に伴いまして、令和6年4月以降の「予約の無い一般内科外来診療」は、一時的に休診とさせていただいております。

出来るだけすみやかに再開できるように医師確保に尽力しております。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。



独立行政法人 国立病院機構 静岡医療センター

〒411-8611 静岡県駿東郡清水町長沢 762-1

☎ 055-975-2000 FAX: 055-975-2725 紹介用 FAX: 055-975-1999